

JAGUAR tcs racing

2024年12月9日

2024/2025 ABB FIA フォーミュラ E 世界選手権の開幕戦、サンパウロ E-Prix JAGUAR TCS RACING のミッチ・エバンスが劇的勝利



- 2023/2024 シーズンのチーム・チャンピオンシップを制した JAGUAR TCS RACING のミッチ・エバンスは、ABB FIA フォーミュラ E 世界選手権 2024/2025 シーズンの開幕戦であるサンパウロ E-Prix において、最後尾の 22 番グリッドから劇的な追いあげをみせ優勝を獲得
- ミッチ・エバンスは、フォーミュラ E 世界選手権において最後尾スタートから優勝した初のドライバーとして歴史に名を刻む
- ミッチ・エバンスは、ルーカス・ディ・グラッシ、セバスチャン・ブエミと並び、フォーミュラ E 史上最多勝利数 13 を達成したドライバーに
- 35 週のレースで 2 度の赤旗中断という波乱の展開となったシーズン 11 の開幕戦を勝利により、ミッチ・エバンスはドライバーズ・ランキングでトップに
- JAGUAR TCS RACING のニック・キャシディも表彰台争いに加わっていたが、マキシミリアン・ギュンター (DS PENSKE) とパスカル・ウェーレン (TAG HEUER PORSCHE FORMULA E TEAM) との接触でサスペンションにダメージを負い、リタイアを余儀なくされた

JAGUAR tcs racing

2024年12月8日、ブラジル・サンパウロ発: ABB FIA フォーミュラ E 世界選手権 2024/2025 シーズンは、とてもスリリングな幕開けとなりました。ミッチ・エバンスが最後尾の 22 番グリッドからのスタートにもかかわらず優勝を果たし、JAGUAR TCS RACING は見事なカムバックを飾りました。

JAGUAR TCS RACING で 13 回目の優勝を果たしたミッチ・エバンスは、フォーミュラ E 選手権史上初めて最後尾グリッドからのスタートでレースを制したドライバーとなりました。また、2014 年にフォーミュラ E 選手権が始まって以来、ルーカス・ディ・グラッシ、セバスチャン・ブエミと並んで最多勝利ドライバーとなりました。

今シーズン初のクオリファイセッションは苦戦を強いられ、ニック・キャシディがわずか 0.1 秒差でデュエル進出を逃し 10 番手、ミッチ・エバンスはテクニカルトラブルによりグループ B でラップタイムを記録することができず、最後尾の 22 番手からのスタートとなりました。

スタート直後、新しい全輪駆動システムの導入により両ドライバーとも好調な走りだして、ニック・キャシディは順位を 1 つあげ、ミッチ・エバンスはターン 4 で 5 台を抜き去って 15 番手にまで順位をあげました。3 周目にセーフティカーが導入されましたが、両ドライバーは引き続き力強い走りでラップを刻み続けました。レース序盤にアタックモードを駆使して順位をあげたニック・キャシディは、8 周目にトップに立ち、ミッチ・エバンスはレース中盤には 3 位まで追いあげていました。

21 周目に赤旗が振られ、レースは一時中断となり全ドライバーがピットレーンに戻りました。再スタート後、ニック・キャシディは 6 位、ミッチ・エバンスは 10 位につけます。2 回目のアタックモードを残していたニック・キャシディはすぐに順位をあげてトップに迫り、28 周目にオリバー・ローランド (NISSAN FORMULA E TEAM) がドライブスルーペナルティでピットインするとトップの座を奪還しました。この時点でミッチ・エバンスは 2 位にジャンプアップしており、JAGUAR TCS RACING の 1-2 体制となります。その後、2 回目のアタックモードを残していたミッチ・エバンスがニック・キャシディを追い抜いてトップに立ちました。

コース上での激しい上位争いが繰り広げられるなか、ニック・キャシディはマキシミアン・ギンター (DS PENSKE) とパスカル・ウェーレン (TAG HEUER PORSCHE FORMULA E TEAM) の間に挟まれ、その衝撃で「I-TYPE 7」のステアリングが壊れてしまいました。サイド・バイ・サイドの攻防が続くなか、次のコーナーでもさらなる衝突を避けられずパスカル・ウェーレンのマシンが横転する事態となり、再び赤旗が振られることになりました。

レースが再開されると、JAGUAR TCS RACING のメカニックの素晴らしい努力により、ニック・キャシディは 15 位でレースに復帰することができましたが、残り 1 周でリタイヤを余儀なくされてしまいました。

JAGUAR tcs racing

首位で再スタートしたミッチ・エバンスは、非常に緊迫したラスト 4 週の攻防でポジションを守りきり、JAGUAR TCS RACING にサンパウロでの 2 度目の勝利をもたらしました。

JAGUAR TCS RACING チーム・プリンシパルを務めるジェームズ・パークレーのコメント:

「非常に緊迫したドラマチックなレースでした。まずはパスカルが怪我を負わなかったと聞いて安堵しています。彼が無傷だったことは最新のマシン GEN3 Evo の強さの証明であり、次のレースでの彼がベストを尽くせるよう祈っています。

そして、最後尾から追いあげて優勝したミッチとチームの偉業は、このレベルのモータースポーツにおいてはまさに信じられないことです。トラックと本拠地にいるチーム全員にとって、これは本当に素晴らしい、忘れられない瞬間です。まだやるべきことがたくさんあることもわかっています。『I-TYPE 7』のペースは明らかに優れていますが、その潜在能力を最大限に引き出すために懸命に取り組む必要があります。私たちはすでにメキシコに向けて、そこに注力しています。」

JAGUAR TCS RACING ドライバー、ミッチ・エバンス(#9)のコメント:

「まだ気持ちの整理がついていませんが、とてもクレイジーなレースでした。1 周目に 10 もポジションをあげて、すぐに上位争いに加わることができました。その後は確実にポイントを獲得すること、表彰台を目指して集中していましたが、優勝できたのは本当に信じられません。チームが僕を導いてくれ、僕たちは戦略をうまく実行することができました。JAGUAR TCS RACING の全員に感謝します。そしてパスカルが無事であったことがなによりうれしいです。本当に素晴らしいレースでした。」

JAGUAR TCS RACING ドライバー、ニック・キャンディ(#37)のコメント:

「まずはパスカルが無事で安心しました。それが一番重要なことです。ハンドルが効かず、まるで助手席に乗っているような気分でした。アクシデントは彼にとっても僕にとっても残念なことですが、彼が無事だということが何よりもうれしいです。今日のレースでは昨年の教訓を生かし、これまでとは違う方法でアプローチしましたが、それがうまくいったと思います。僕のマシンには新しいスタッフが加わり、本当に堅実な仕事をしてくれ僕たちを再び優位に立たせてくれたことに感謝します。」

ミッチ・エバンスは 25 ポイントでドライバーズ・ランキングをリードし、チームメイトのニック・キャンディは 16 位、JAGUAR TCS RACING はチーム・ランキングで 2 位につけています。

ABB FIA フォーミュラ E 世界選手権シーズン 11 の第 2 戦は、2025 年 1 月 11 日(現地時間)にメキシコシティで開催されます。

※本プレスリリースはジャガー・ランドローバーが 2024 年 12 月 8 日(現地時間)に発表したプレスリリースの翻訳です。

JAGUAR tcs racing

以上

エディタース・ノート

JAGUAR TCS RACING について

JAGUAR は 2016 年 10 月にモータースポーツ界に復帰し、電気自動車によるレーシング・シリーズ、ABB FIA フォーミュラ E 選手権に参戦した、最初のプレミアム自動車メーカーとなりました。

2024 年、JAGUAR TCS RACING が ABB FIA フォーミュラ E のチーム・チャンピオンシップを獲得し、JAGUAR にとって 1991 年以來となる世界選手権制覇を達成しました。また、JAGUAR は GEN3 時代のフォーミュラ E レーシングマシンである「I-TYPE 6」で、新設されたマニュファクチャラーズ・タイトルも獲得しました。

JAGUAR TCS RACING のドライバーであるミッチ・エバンスとニック・キャシディは、2023/2024 シーズンのドライバーズ・ランキングでそれぞれ 2 位と 3 位となり、フォーミュラ E が GEN3 Evo 時代へと移行するシーズン 11 にも、チームの一員として再び参戦します。シーズン 11 と 12 にまたがる GEN3 Evo では、新しいパワートレインや、クオリファイセッションおよびレースの一部のフェーズで全輪駆動を採用するなど、世界唯一のネットカーボンゼロの電動レーシングマシンは、さらなる技術的進歩が見込まれています。

また、2026 年にスタートするシーズン 13-16 の GEN4 時代への継続参戦することを決定し、ABB FIA フォーミュラ E 世界選手権への長期的なコミットメントを表明しました。

フォーミュラ E は、オール電動のコンセプトだけでなく、開催地の選択においてもモータースポーツ界ではユニークな存在です。2024/2025 シーズンの世界選手権では、サンパウロ、ディルレーヤ、東京、モナコなど、世界の主要都市の中心部に作られる仮設のストリートサーキットで多くのイベントが開催される予定です。また、新たな開催地としてマイアミが加わり、シーズン最終戦は再びロンドンでダブルヘッダーのレースウィークエンドとして開催される予定です。

JAGUAR TCS RACING はフォーミュラ E の公式マニュファクチャラー・チームとして、モーター・ジェネレーター・ユニット、トランスミッション、インバーター、リア・サスペンションを含むパワートレインを独自設計しています。JAGUAR は、フォーミュラ E の長期的な技術パートナーであるフォーテスキューWAE を通じて ENVISION RACING に GEN3 Evo のパワートレインを供給します。

コストを抑えるため、カーボン・ファイバー・シャシーとバッテリーは、全 11 チーム共通となっています。これにより、効率的かつ軽量なパワートレインの開発に焦点を絞ることができ、未来のジャガー・ランドローバー (JLR) のフルバッテリー電気自動車 (BEV) のパフォーマンスと航続距離の向上につながります。

フォーミュラ E への参戦は、JLR が掲げる「REIMAGINE」戦略の実現に向けた最重要事項であることに変わりはありません。フォーミュラ E は電気自動車による世界選手権の最高峰であり、チームは高性能が求められる環境で新しい EV テクノロジーをテストして開発することができます。チームのミッション「Race to Innovate (イノベーションのためのレーシング)」のテストベッドであり続け、そこから得られる「Race to Road (レースで得た知識や経験を市販車へ)」、そして「Road to Race (市販車からレースへ)」と相互の学びによって、JAGUAR の EV の未来を切り開いていくのに寄与します。

JAGUAR TCS RACING は、「Race to Inspire」というミッションのもと、レースプログラムを通じて地球や地域社会にポジティブな影響を与えることで、未来の世代にインスピレーションを与えることを使命としています。世界初のネットカーボン

JAGUAR tcs racing

レースカーでの競争から、次世代のエンジニアやモータースポーツの専門家のサポートやトレーニングまで、さまざまな活動を行っています。

詳細については、<https://media.jaguarracing.com/>をご覧ください。

Tata Consultancy Services (TCS)について

TCS は、56 年以上にわたって数多くの世界最大規模のビジネスをデジタルに変革してきた、IT サービス、コンサルティング、ビジネスソリューションを提供する企業です。JLR の長年にわたる戦略的テクニカルパートナーである TCS は、新しいテクノロジーを活用して、レースチームの電動化を促進し、レースで勝利して、より持続可能な未来を構築する活動をサポートしています。TCS はより良い未来の構築に取り組み、サーキットで得たノウハウを活用して、モビリティ・エコシステムを変革しています。タタ・グループの一員である TCS は、世界中に 61 万 2,000 人を超えるコンサルタントを擁しています。

◆お問い合わせ先◆

ジャガーコール(フリーダイヤル)0120-050-689(9:00-18:00、土日祝日を除く)

